星野光弘市長誕生　富士見市長選終わる

新人同士の対決となった富士見市長選挙。前県議の星野光弘氏（自民推薦）が元市議瀬戸口幸子氏（共産推薦）を16000票近くの大差をつけ初当選した。

市長選挙に先立って行われた埼玉県議会議員補欠選挙では自民推薦の吉野きんぞう氏が金子勝氏に敗れるということもあって、今回の選挙では星野陣営も引き締め、引き締めというムードで選挙戦を展開した。

星野氏の父、故星野勤吾氏は元県議。また川越市選出、中野英幸県議の母が勤吾氏の妹である。

星野光弘氏は市議から県議へ。また家業のかたわら青年会議所、商工会□□□□など地域に根付いた活動を精力的にひろげてきた。

スピーチの名手であり、ショートフレーズで人心をつかむことが得意だ。ららぽーと進出で人があつまり、子育て魅力の人気急上昇の東武東上線、みずほ台、鶴瀬、ふじみ野3つの駅を擁する可能性を秘めた富士見市のかじ取りを、みつひろ流でどう切っていくか、今後が楽しみだ。また、富士見市、ふじみ野市は川越とのコラボレーションが不可欠な地域（衆議院小選挙区第7区）でもあり、中野英幸県議との息のあった政治力も期待したいところだ。